

(リスクアセスメント) 試掘工 作業手順書

会社名	中日本ハイウェイ・メンテナンス名古屋㈱	主な設備、仕様機械	主な使用工具、器具	安全設備、保護具	使用材料
作成日	令和6年3月25日	2tトラック、3tトラック 連絡車	ケーブル探査機、マーキングスプレー ロッド、テープロッド、ポイントクリップ 角スコップ	ヘルメット、手袋、安全靴、安全チョッキ 保護メガネ、マスク	埋設票、土のう袋
改訂日	令和6年7月1日				
作成者	上野				
必要資格等	運転免許(普通、準中型)			作業人員	2~3名
備考					その他 埋設協議を行ってから作業する

作業工程	No	単位作業とその主な手順	危険有害要因(予測される災害・事故) (品質、トラブルも含む)	危険要因			危険有害要因低減対策	誰が		対策後			参 考 図 (写 真 等)
				可 能 性	重 大 性	評 価		点 検 ・ 確 認	可 能 性	重 大 性	評 価		
準備工		作業前ミーティング											【セーフティーバイブル】 ・全体編【WH-16】ケーブル防護対策
	1	新規入場者のチェックをする	現場、施工方法等について十分な知識を有していない	2	2	4	新規入場者教育の受講	職長	1	2	2		
	2	健康状態を確認する	風邪、飲酒等により正常判断が出来ない	2	1	2	体調確認、アルコールチェックを行う	職長	1	1	1		
	3	服装、保安用具の点検をする	自発光チョッキの球切れ、しらすんだーが鳴らない	2	1	2	全員で点検を実施する	全員	1	1	1		
	4	朝礼、KYミーティングを行う	漠然と現場に入り事故を起こす	2	1	2	資格者証の確認、危険箇所の確認	全員	1	1	1		
	5	現場の埋設の有無確認	現地未確認のまま試掘しケーブルを切断する	2	2	4	埋設図面と現地状況を照合する	全員	2	1	2		
	6	埋設近接協議の作成	未協議のまま作業をしてケーブルを損傷させる	2	2	4	手順に沿って近接協議後に作業する	全員	2	1	2		
	7	車両点検、荷姿チェックをする	作業車の積荷、スペアタイヤの落下	2	2	4	車両点検、荷姿チェックを行う	全員	1	2	2		
移動		現場への移動											
	1	交通ルールを守り運転する	人身、物損事故	3	3	9	指差呼称を実施して安全確認する	運転手、助手	1	2	2		
	2	高速道路に入る前にプレート区間の確認	プレート区間外使用、不正使用	2	1	2	通用区間、プレート、車番を確認する	運転手、助手	1	1	1		
	3	規制進入時は保安員の指示で進入する	一般車の追突、規制内への誤進入	3	1	3	保安員は適切な誘導を行う	保安員	1	1	1		
	4	規制内に車両を駐車する	車両が動いて、他のものに接触する	3	2	6	ハンドル切、サイドブレーキ、輪止めを必ずする	全員	1	2	2		
	5	規制内での移動	車両同士の接触	2	2	4	車両の移動は必ず保安員の指示に従う	運転手	1	2	2		
			車両と作業員の接触	2	2	4	保安員は運転手から見える場所で誘導を行う	保安員	1	2	2		
本作業		試掘工											
	1	保護具の着用	保護具未装着によるケガ	1	2	2	適切な保護具の着用確認	全員	1	2	2		
	2	職長は、安全管理に心がける	作業員の不安全行動	1	1	1	職長は作業より、安全管理・仕上げ具合に留意する	職長	1	1	1		
	3	埋設物の位置確認	法面の切り株や段差でつまづき転倒する	3	1	3	現地到着後、周囲の安全を十分に確認する	作業員	2	1	2		
	4	試掘作業	埋設ケーブルを損傷させる	2	3	6	探査機で深さを確認し、角スコップですきとるよう試掘する	作業員	2	1	2		
	5	埋設条数、深さを検測し、埋設標を設置する	埋設ケーブルを損傷させる	2	3	6	慎重に設置を行う	作業員	1	1	1		
	6	埋戻し	試掘土でケーブルを損傷させる	2	3	6	ケーブルに振動を与えないよう慎重に埋め戻す	作業員	1	1	1		
片付け		片付け											
	1	清掃	土などのゴミが目に入る	2	1	2	保護メガネ、フェイスシールドを使用する	作業員	1	1	1		
	2	後片付け	作業車の荷の落下	2	2	4	車両移動前、荷姿チェック時に確認しておく	全員	1	2	2		
				2	2	4	ロープがけは必ず車線と反対側から行う	全員	1	2	2		
	3	作業車両離脱	一般車両との接触	2	2	4	車両の移動は必ず保安員の指示に従う	運転者	1	2	2		
				2	2	4	保安員は運転手から見える位置に立つ	保安員	1	2	2		